

# けやきゼミナール teacher's 版 No.16



## ○ 新時代の教育関連のキーワードって？

人工知能やICTなどの急速な発展は、多くの分野でこれまで不可能と思われてきたことを可能にしました。特別な支援が必要な人にとって有力なツールになると思います。しかしながら、どんなにテクノロジーが発展しても「想い」を繋いでいくことは「ヒト」にしかできないと思います。

「障害」の捉え方は、従来の医学モデルから、社会モデル、包括モデルへと変化しています。医学モデルでは、「障害」を個人の固有の「欠損」として「治療する」という捉え方をしていました。社会モデルでは、心身の機能に何らかの限界がある人の社会参加を拒む「バリアー（障壁）」が障害であると捉えています。包括モデルでは、障害を個人と環境との相互作用で状態像が変わるという捉えです。

「障害」の捉え方の変化に伴い、社会の中にある様々なバリアー（障壁）をなくしていこうとするバリアフリーの考え方が生まれ、さらに進んで、ダイバシティ（多様性）を前提としたユニバーサルは社会環境を形成しようという新時代になっています。

### • Neurodiversity → 「神経学的多様性」「脳の多様性」

人の肌の色や髪の毛の色が多様なように、発達障害のある人に見られる様々な特性についても「脳の多様性」という視点でとらえようとするものです。

知的機能や発達特性などの発達の多様性は環境因子との相互作用により適応状態が良好であれば「個性」に、不適応の状態であれば支援が必要な「障害」となります。「不適応」とは、その環境で要求される水準が達成できない、あるいは本人が苦痛を感じている状態のことです。発達多様性のある人と環境とのミスマッチが「障害」のある状態を生じさせているという考え方で



### • Society5.0 → サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより 経済発展と社会的課題の解決を両立させる人間中心の社会

### • アコモデーション → 授業の内容を変更せずに方法と形式を変更する多様な学びの方法 (ICTの推進やワークシートなどの情報提示の工夫)

### • モディフィケーション → 授業や課題の内容そのものを変更する多様な学びの方法

令和2年度キーワード…「組織化」「共有・協働」「探究」「ユニバーサルデザイン」「チャレンジ」

CHALLENGE…各自の目標を見つけ、それに向かって自らの能力や適性を伸ばし、挑戦し続ける

INDEPENDENCE…民主社会の担い手として、優れた判断力と強い責任感を備えた人物を育てる

GLOBAL…国際社会の一員としての自覚を持ち、自国の文化や習慣を大切にすると同時に、他国

の文化や習慣を理解できる人間に育てる